

連載

未来への扉④



図書館司書がお薦めする、子ども・子育て世代向けの本を紹介します。
問 新津図書館 (☎0250-22-0097)



『フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし』
レオ・レオニ/作 谷川 俊太郎/訳
出版社：好学社 発行年：1980年
市内図書館所蔵数：32冊

あらすじ

野ネズミたちが冬ごもりのため、食べ物を使えと隠れ家に運んでいました。ところが1匹だけ何もしていないネズミがいました。フレデリックです。仲間たちが「どうして働かないの?」と聞くと、「光や色を集めている」と答えます。そしてとうとう冬。寒くて暗い穴の中で、食べ物も尽きかけたそのとき、みんなはフレデリックが集めていたものを思い出しました。そこでフレデリックは、魔法のようにそれを取り出してみせるのです。

おすすめポイント

イソップ物語には、働くアリとは対照的に、音楽と戯れるばかりのキリギリスが怠け者として扱われる話があります。
この話のフレデリックは一見ぼんやりしていますが、仲間たちが思いもつかない、光や色、言葉を集め、素晴らしい才能を持つユニークな存在として輝きます。
みんなに褒められて照れているフレデリックはうれしそうで、読んでいるこちらまで温かい気持ちになります。



年末大掃除のごみ 正しく分別しよう

1 注意が必要なごみの出し方を再確認しよう

- 特定5品目(乾電池類、蛍光管、水銀体温計、ライター、スプレー缶類)
- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
 - ライターとスプレー缶類は必ず使い切る。やむを得ず中身が入ったままのときは袋に「中身入り」と表示する

電池やバッテリーを取り外せない製品は「特定5品目」へ
電子たばこやモバイルバッテリーなどの充電式の家電製品で電池類を取り外せないときは、無理に分解せず、製品本体ごと「特定5品目」に出してください。

プラマーク容器包装

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
- 中身を使い切り、汚れを取り除いてから捨てる
- 汚れが取れない場合は「燃やすごみ」へ出す

※プラマーク=右=の付いていないもの、プラスチック製品そのものは「プラマーク容器包装」に出せません

▲プラマーク

「ごみ関連チャットボット」を活用しよう
ごみの分別方法や収集日、粗大ごみの処理手数料などの問い合わせにAI(人工知能)が自動で回答します。パソコンやスマートフォンから24時間利用することができます。

LINE版はこちら
WEB版はこちら

市ホームページバナー広告 掲載事業者を募集

＼1カ月間だけの掲載でもOK／

月額30,555円
問 広報課(☎025-226-2111)

子育て応援通信 家族で遊ぼう13 同施設 (☎025-378-3109)

新潟市内の遊び場を紹介します。

アグリパーク

開館時間：9時～17時
※レストランと直売所の開館時間や休館日などは、同施設ホームページに掲載
入館料：入場無料(体験料金など別途必要な場合あり)
場所：南区東笠巻新田(駐車場136台)

同施設は、農業体験を通じて新潟市の農業の魅力を伝える、日本初の公立教育ファームです。ヤギ・ヒツジの餌やりや牛の乳搾り、農作物の収穫などのほか、石窯で焼くピザ作りなどの調理体験もできます。地元の農産物や加工品を販売する直営所や地元の食材を使ったレストラン、宿泊施設もあります。

新潟市の農業の魅力を再発見しに出掛けてみませんか。
※関連記事を別冊情報ひろば2・3面に掲載

動物と直接触れ合うことができます

牛の搾乳体験では、牛乳の秘密をクイズで学んだ後、スタッフと一緒に乳搾りをします。ヤギとヒツジも皆さんが来るのを待っています。ぜひ会いに来てください。

同施設 飯田 顕子さん

年末の大掃除などで家庭から出たごみは、資源とごみに正しく分別して処分しましょう。
ごみの収集日は住んでいる地域で異なります。詳しくは「家庭ごみ収集カレンダー」=右=を確認してください。
問 廃棄物対策課(☎025-226-1407)

家庭ごみ収集カレンダーはこちら

2 粗大ごみの出し方を確認しよう

- 粗大ごみ受付センターにインターネットまたは電話で回収を申し込む
- 収集日までに粗大ごみ処理券を購入する(市内スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター、ドラッグストアなどの小売店や市役所、区役所、出張所で販売)

粗大ごみ受付センター
☎025-290-5353 FAX025-290-5371(聴覚障がい者など専用)
受付時間 9時～17時(日曜、祝・休日、12月29日～1月3日除く) ※インターネットは24時間受け付け。年末年始の電話受け付けは大変混みます。日にちをずらして連絡するか、インターネット受け付けを利用してください

スマートフォンはこちら

3 不用品をリユースして ごみを減量しよう

まだ使える家具などはリユースショップを活用し、ごみの減量に取り組みましょう。 ※エコプラザ(東区下木戸3 ☎025-270-3009)での、家具などの回収は12月28日で終了。期限前でも受け付け枠に達し次第終了
問 循環社会推進課(☎025-226-1423)

リユースプラットフォーム「おいくら」を使ってみませんか
株式会社マーケットエンタープライズ*の運営する同プラットフォームでは、不要品の買取価格を複数の店で比較し売却することができます。 ※今年9月、新潟市と同社は同プラットフォームの利用に関して協定を締結 問 廃棄物対策課

スマートフォンはこちら

問 土木総務課(☎025・226・3017)